

令和5年度組織目標 知事協議概要

部 局 名	総合企画部
日 時	令和5年(2023年)4月26日(水) 15:37~16:20
場 所	特別会議室
出 席 者	知事、江島副知事、大杉副知事、知事公室長、総務部長、総務部管理監 総合企画部長、理事(新駅問題対策・特定プロジェクト推進室長事務取扱)、 次長(兼)管理監(大学連携担当)、管理監(広域政策・地方分権・万博担当)、 管理監(高専設置準備担当)、 企画調整課長、高専設置準備室長、国際課長、県民活動推進課長、CO ₂ ネットゼロ推進課長、 人権施策推進課長、DX推進課長、統計課長

発言者	発言概要
大杉副知事	<p>高専設置準備室は、新しい体制で意欲的に取り組んでいただき感謝している。設置準備にかかる業務項目の洗い出しを行ったところ600項目以上あるとのこと。大変だと思うがメリハリをつけてやってほしい。室職員の皆さんには、高専を語れるようになってほしい。そのためにも、いろんなところに行って、多くの人と会って話をできてほしい。</p> <p>大学連携は新しいフェーズに入ったと考えている。これまでの大学の役割は、教育、研究に加えて第三の機能として地域連携があったが、最近は教育研究に地域が入り込んでいる。本来業務としてやらなければならないという意味で、大学による地域連携をより深く広く考えざるを得ない状況。ただ、それを一つ一つの大学が受けきれていない現状がある。だからこそ東海圏では東海大学が機構を設け、機構において地域連携を戦略的にやっていく体制にしている。京都ではコンソーシアムを設け、国の補助金をどう持ってくるかというマッチングのほか、様々な書類の書き方も含めてかなりアドバイスするといったことをしている。個々の大学任せではない部分がある。そうした観点で今の環びわの機能をどうするかを東海圏や京都の例も見ながら考えていくべき。</p> <p>理工系人材については、言葉の捉え方が様々ある。滋賀をフィールドに多目的な視点で課題解決できるということについて共通理解を図りながら人材育成をしていければ良いと思う。</p> <p>DXについては、チャットGPTをどう使うか考えていかなければならない。横須賀市は全面的に使うとしており、ニュースになった。弊害も踏まえた上でどう使うかを考えていく必要がある。</p> <p>先日、東京海上日動火災保険さんが来られたが、日野市が行政のDXをかなり進めているとのことだった。県としても参考になるかもしれない。いろいろと節目に来ていると思う。</p> <p>統計課は、個別の案件では滋賀大学と連携しておられると思うが、滋賀大学の協議会の委員が文科省で滋賀の課題解決をデータベースで滋賀モデルというかたちにして、滋賀大学と連携してやる仕組みを構築できないのか、といったことを言われたと聞いている。</p> <p>そういう意味では、県民活動生活課の包括的連携協定の中身についてもデータ活用することも含めて考えていくなどダイナミックな仕掛けが必要と思う。</p> <p>計画やイベントについては相談があるが、そうしたことも含めて相談をしてもらいたい。</p> <p>国際課も協議を受けたデータは古いものしかない。今後の方向性も含めてぜひ気軽に相談いただきたい。</p>
江島副知事	<p>キーワードは、「攻め」と「現場」かと思った。</p> <p>北の近江振興は現場が大事。サテライトオフィスはもう二つできたのか。ぜひサテライトオフィスを作りながら、あるいは部局も伴いながら進めてほしい。また進み具合を報告いただきたい。</p> <p>大学の関係であるが、ぜひ14大学を訪問してほしい。コンソーシアムという大括りの組織もあるが個別の大学のこともネットワークとして大事にしてほしい。</p>
次長(兼)管理監 (大学連携担当)	<p>龍谷大学や立命館大学などの方とお会いしている。研究費補助に係る申請書提出についての相談対応も行っているところ。</p>
江島副知事	<p>31社ある包括連携協定締結企業もまわってほしい。過去に担当をしていた時に各社を訪問したことがある。その時、協定を締結していることを十分認識されていない企業があった。訪問して話を聞き、連携できることを更新してほしい。</p>
総合企画部長	<p>今後、様々なお話を伺った上で包括的連携協定に基づく取組についても必要に応じて見直していききたい。</p>

発言者	発言概要
知事	<p>江島副知事が言われた「攻め」や「現場」は大事。包括的連携協定のバージョンアップが必要。協定締結から10年は経過している企業もあるのではないかと。長く経過して、協定を締結したことが忘れられているようなことは無いだろうか。県側でもしっかりと認識できているだろうか。締結企業を訪問して話をすることも必要だが、県としても各部署に対して、包括的連携協定締結企業と連携できることを改めて探そうと働きかけてほしい。例えばCO2は連携すべきことがたくさんあるのではないかと。そうした観点で見直していこう。</p> <p>大学はできれば5月中旬に全部行けるようにし、6月に方向性を検討しよう。規模の小さな大学から回ってはどうか。今度の担当者はこれまでとは違うと思ってもらえるのではないかと。</p> <p>滋賀県の大学は、デザイン、理工、文系、農業など幅広く様々あり、三万人を超える学生がいるというのが、一つの強み。しかしながら、大学同士で横と繋がるということについては、インセンティブが無い。そういうことを県から仕掛けて連携してやれるような事業を文科省も考えてはくれているが、国で制度化して、さらに取り組めるようにするとか考えられる。大学連携はもしかしたら広域連合で少し広げてみるのも良いかもしれない。県内だけでやるというのはどうか。</p>
大杉副知事	データサイエンスもグループ化してやられている。
知事	<p>例えば、デザインならデザインだけで関西一円でやってみるのはどうか。保育士養成などは広域でネットワーク化して、機能を高めて新たな事業をやってみるというのもありかもしれない。</p> <p>「総合企画部」は、「総合政策部」とか「総合調整部」ではない。重視しているのは企画力である。</p> <p>琵琶湖環境部の組織目標協議の際に申し上げた三つの視点がある。 「次世代」、「広域」、「世界」という視点を持ちながら施策づくりに取り組もうではないかと。</p> <p>基本構想と総合戦略は、同じようなものが二つもあって、作る時は一生懸命だが、出来上がったらどこにどんなことを書いたかは忘れてしまうといったことがありがちなので、私は両計画の一体化は良いと思う。</p> <p>昨年度、総合事務支援システムの掲示板に掲載されていた「滋賀県基本構想のおはなし」に出ていたこうそうくんとシランちゃんにもう一度出てきてもらって、「ひしょひしょバナシ」と絡めてやってみてはどうか。難しいことをわかりやすく皆に楽しく参加してもらおうということが大事だと思う。</p> <p>高専についてだが、管理監（高専設置準備担当）と室長は、テープカットまで行こう。そのつもりでやるから。そのための体制強化、そのための室長である。</p>
高専設置準備室長	先日も室内で設置認可の連絡を受けて涙を流したい、と話をしたところである。そのつもりである。
知事	<p>そのつもりでいこう。</p> <p>万博の取組は難しいが、楽しみでもあるので、うまく活用しよう。 子どもの参加については、象徴的な打ち出し方として言っている。 料金をどのように負担するかやどのようにして来てもらうかといったテクニカルな面より、まず子どもが参加するというのが大事。ミャクミャクプロジェクトのようなものを作ったら良い。</p>
管理監(広域政策・地方分権・万博担当)	ブースはこれから設計に入るが、薄い間伐材のようなものに子どもたちにメッセージを書いてもらって設置する、といったことも考えられる。
知事	<p>滋賀県版ミャクミャクプロジェクトを作って、今年度スタートさせてはどうか。小さいことから良い。</p> <p>ミャクミャクの塗り絵でも良い。保育園児や幼稚園児にやってもらうのでも良い。「万博にどんなことを期待しますか絵画展」でも良い。何か子どもが絡むことをやれば良い。</p>
管理監(広域政策・地方分権・万博担当)	県立美術館のギャラリーを借りてやることも考えられる。

発言者	発言概要
知事	<p>今年度はぜひミャクミャクプロジェクトをやろう。子どもの招待だけではない。パビリオンだけではない。</p> <p>世界の視点、世界との繋がり、いよいよコロナも明けるので出て行くのもあるだろうし、来てもらうのもあるだろうから、大いにロジ力を上げていただくようお願いしたい。</p> <p>その際、日本語も大事だけど、母国文化をどれだけ大事にできる滋賀県なのか。滋賀県にしながら国際交流ができるという視点を大事にしたい。</p>
国際課長	<p>多文化共生というのは、外国人の県民の皆さんと仲良くすることによって県民の皆さんが幸せになるというのが究極の目標だと思っている。そういう方向で取り組んでまいりたい。</p>
知事	<p>技能実習生の男性が女性と出会い、結ばれて、子供ができて、産むのに困って殺してしまう。</p> <p>このような状況に追い込まれる今の社会のあり様はおかしいと思う。</p> <p>こうしたことが起これば、人権を所管する課が一番に、「知事、これについて何か言いましょ」と人権のアンテナを高く持って言ってきてほしい。「滋賀県の人権は違うぞ」と思われるようにしよう。世の中の小さな事象でも滋賀県から発信されたと言えるようにしよう。「すべての施策で人権の視点を持つ。」そうした意味でパートナーシップの制度等を設けることは不可避だと思う。啓発だけではない。やりましょう。</p>
人権施策推進課長	<p>わかりました。</p>
知事	<p>DXには大いに期待している。チャットGPTで私は漫画家であると言われた。だが、おもしろい。課題はあるが、これはぜひ活用できるようにしてほしい。</p>
DX推進課長	<p>連休明けにはワーキングチームを立ち上げてやっていく。</p>
知事	<p>統計も大事である。せっかく日本で最初にできたデータサイエンス学部のある大学があるので、何か象徴的な取組をやって、徹底的に連携したらどうか。</p>
統計課長	<p>国内にデータサイエンス学部が増えてきたが、滋賀大学はパイオニアである。国の委員なども受けておられる。本県と滋賀大は（DS学部開設後で）6年ほどEBPMの事業をしており、一層連携してまいりたい。</p>
知事	<p>こども、教育、みおしずくクラスター、湖北三病院の統合、これらについて北の近江振興の所掌ではないと言わせない。全部ひっくるめて北部振興、北の近江振興であるという作り方をしながら市町を巻き込んで事業を作っていこう。伊吹山も含めて。</p> <p>象徴的な取組をすれば皆を引っ張っていけると思う。</p> <p>CO2は琵琶湖文化ゾーンで何かモデルプロジェクトをやったらどうか。</p>
CO2ネットゼロ推進課長	<p>今年度、琵琶湖ゾーンの各施設と連携して、太陽光発電のPPAについて、採算性の調査を行う。昨年度に物理的な調査を行ったので、どういう組み合わせをすれば現実的に導入できるか詳細調査を行うので来年にはかたちあるものにできると思う。</p>
知事	<p>現実的な調査は大事であり、それはやれば良い。ただ、もう少し楽しく先を見るようなプロジェクトを立ち上げられないか。県有施設や大学も多い。</p>
CO2ネットゼロ推進課長	<p>昨年度、琵琶湖のビジョンを改訂したので、タイアップしながら考えてまいりたい。</p>
知事	<p>消費生活センターについて、よろしくお願ひしたい。あそこいろんな声が届き、県民の皆さんの事情が届いていると思う。まだまだ十分な処遇というのは作れていないのかもしれないが、市町とタイアップしながら、特殊詐欺被害だとか若者の犯罪への加担といったことが起こらないようにしていこうではないか。</p>